

(別紙4(2))

事業所名 まつもとデイ・グループホーム長沼

作成日: 令和2年 9 月 24 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束廃止未実施減算に係る書類について見直しが出来ていない。	全ての職員が、身体拘束ケアを正しく理解する。	研修記録・会議の議事録などの書類について見直しを図り、適切に作成・保管をするよう実践していく。	1ヶ月
2	4	コロナの為、開催できていない。	一年に6回の運営推進会議の開催をする。	外部者の来訪・受け入れが難しい為、施設内で協議した内容を書面にて郵送し確認してもらう。	1ヶ月
3	35	コロナの為できていない。	少人数での訓練内容を検討し、年2回の開催をする。	グループごとで、訓練を行うほか、テーマを作り、机上訓練を行っていく。	3ヶ月
4	11	職員会議が、コロナの為出来ていない。	職員が意見や提案を発言でき、反映が出来る様にする。	全体会議は、様子を見て検討していく。グループごとの集まりなどを行い、管理者の個別面談は早速実践する。	1ヶ月
5	10	面会が出来ていない為、普段の様子が報告できていない。	様子の報告を行うほか、家族の意見・要望を聞き運営に反映させていく。	1か月に1度、個別写真を届けるほか、普段の様子をご家族に連絡する。	1ヶ月

6	26	介護計画が職員に浸透されていない。	介護計画について、話し合いの場を設け、現状に即した介護計画が作成できる。	介護計画で定める目標・サービス内容については、職員間での申し送り、サービス実践ノートを作り、職員が内容を共有していけるようにする。	3ヶ月
7	1	理念の活用がうまく出来ていない。	理念を共有し実践できるようにする。	本などの活用を行い、視覚からの回想を取り入れるほか、思い出話や、時代の出来事などを話し、懐かしんでもらう。	1ヶ月
8	40	検食と検食簿の未実施。	食事を楽しむことが出来るようにしていく。	検食を行う様にし、味付け・量などの検討を職員で話し合う。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。